

塗装略号：EP

塗装仕様：VOCフリーアクリルつや消し仕上（塗り替え）

上塗塗料名：031L ビニロック V.O

規格：JIS K 5663 1種

素材：コンクリート、モルタル、ケイカル板、せっこうボードなど

部位：建物内壁など

ホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆仕様

工程	塗料と施工内容	シンナー名 希釈率%	標準塗付量 kg/m ² ・回	標準膜厚 μm・回	塗り重ね 可能時間 h (20℃)
1	脆弱な旧塗膜やハガレ部分、フクレ部分等はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去する。またエフロレッセンス、チョーキング部分、汚れ（タバコのヤニ、水性のシミの著しい箇所なども含む）、カビチョーキングは、ブラシ、皮スキなどを用いて水洗浄等で除去、乾燥した清浄面とする。				
2	ビニロックV.Oシーラー 033-1501 (JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンシーラー 規格品) 塗装方法 ハケ、ローラー 塗装回数 1回 塗布面積 125~150m ² /15kg・回	水 ハケ、ローラー 10~20	0.10~0.12	—	2以上
3	ビニロックV.O 031-0502 ベース 指定色 (JIS K 5663 1種 規格品) 塗装方法 ハケ、ローラー 塗装回数 2回 塗布面積 154~180m ² /20kg・回	水 ハケ、ローラー 0~5	0.11~0.13	—	2以上

※塗付量は被塗物の形状、素材、塗装方法などによって多少異なります。

特長

- 塗料中にVOC（揮発性有機化合物）をほとんど含有していないので、安全性が高く住環境に優しい内装用塗料です。
（社）日本塗料工業会が定めるVOCフリー塗料）
- 塗装作業性、インペイ性がすぐれ、色ムラのない美しい塗膜が得られます。
- 樹脂、顔料、添加剤などの塗料原料に臭いの少ないもの使用し、極力低臭化をはかっています。
- 防カビ性にすぐれ、カビが生えにくくなっています。

施工上の要点および注意事項

- 塗料はよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。塗装する際は十分に換気を行ってください。
- 気温が低い時、湿度が高い場合には完全な塗膜ができにくく、十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上の塗装はさけてください。造膜不良の原因となります。
- たえず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。
- 塗装間隔（乾燥時間）は塗装現場の温度、湿度、風通し、素地の状態などにより多少変わります。
- ハケ、ローラーなどの塗装用具は、水性用を使用し、用具や手に付いた塗料は使用後できるだけ早く水で洗い落とすしてください。
- 塗る面のゴミ、かび、こけ、油分などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- タバコのヤニ、水性のシミなどの汚れが著しい場合、中性洗剤を用いて汚れを除去後、下塗りとしてロッククロスシーラーを使用してください。
- コンクリート、モルタル面に、巣穴や段差、ひび割れがある場合には、032ライン ロックカチオンセメントフィラーで処理してください。
- せっこうボードなどに軽度の巣穴や段差、ひび割れがある場合は、089-0200 スパックリングパテ（合成樹脂エマルジョンパテ）で処理してください。
- 被塗物の吸い込みが著しい箇所や、旧塗膜が溶剤系塗料の場合は、下塗り塗料として033-1157 ロックカチオンシーラーを使用してください。
- 改修塗装の場合、素地の種類によって塗膜不良となる事があります。あらかじめ適切な処理を行い、試し塗りをを行った後仕様を決めてください。
- シーリング材の上に塗装する場合、シーリング材の種類、劣化度により付着不良を起こしたり、表面が汚れてくる場合がありますので、試し塗りをを行った後仕様を決めてください。
- 各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合塗膜不良となることがあります。また、各工程において当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。
- 上塗りの調色は、ビニロックV.O原色または、ロックトーンカララント#7000（7%以内）を使用してください。
- この仕様はすべての工程においてホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆を使用しています。F☆☆☆☆以外の材料（被塗物、素材も含む）を使用しますとF☆☆☆☆仕様でなくなりますので注意してください。
- 掲載されている塗料の詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。

○労働災害事故防止のため製品安全データシート（MSDS）をご参照ください。